

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

143号

2012年8月30日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 常盤台が板橋区の 景観形成重点地区に

現在、石神井川流域と赤塚崖線近辺の二箇所が板橋区の景観形成重点地区となっています。

区は、それに加えて加賀地区と常盤台一・二丁目地区の二つを景観形成重点地区に指定しようとしています。

昨年、住民から出された提案を検討した結果について、今度は区側から変更点などの説明をするそうです。チラシが8月26日ごろ配られたのですが、配布漏れもあったようでした。

時 9月5日(水) 18時半～

所 常盤台集会所

(旧介護センター 常・1丁目21)

この街の景観に関わる大事な懇談会です。疑問・意見を区側に伝えましょう。

住民案作成の際、何もわからない住民のために、京都竜谷大牛尾教授とゼミの学生が、景観法を使った全国の例を挙げて助言してくれたのですが、今回も遠路はるばる参加してくれるということです。せっかく作るのですから、ナンバーワンとは言えないまでも、可能な限り良いものにしたいものです。

○ 早期に望まれる電柱地中化

地震・竜巻などで、倒れた電柱が道路をふさいで避難や救助・消防活動を遅らせ、火花を散らす電線が道路上をのた打ち回って危険を及ぼし、火災を起こしたりする危険性について、余り調査したり報道されていないのではないのでしょうか。安心・安全なまちづくりを目指すなら、まず電線の地中化を進めていくべきでしょう。老朽化したガス管や水道管の取替え工事があちこちで行われている今がチャンスでは？

○ 水島信さんの講演 続編

6月に常盤台その他の市民団体のために辻説法を行った、ドイツで活躍中の建築家、水島信さんが、9月にまた帰国、続編をまた行ってくださるそうです。常盤台でも以下の予定が決まりました。前回聞き逃した方もぜひお出てください。

時 9月29日(土) 2時～

所 ギャラリー服部

○ 旗ざお長屋の問題

旗ざお長屋の問題は、最近急増している市街地での問題です。世田谷区が規制に乗り出したことが新聞にも出ました。

有名な事例は、新宿区の「タヌキの森事件」で、建築確認を取り消されましたが、業者は区に対し高額な損害賠償をふっかけています。利益のみを追求して危険な計画を建てようとした企業責任はどう取るのでしょうか。

常盤台でも起こりつつあるので、27日(月)「大規模長屋の法的問題と住環境規制の方策」という、地域科学研究会主催の、主として自治体職員へ向けた研修会に参加してみました。

講師の日置雅晴弁護士のパワーポイントの映像の中に、いきなり常盤台が登場したのでびっくりしました。二つの紛争を担当した小林弁護士の案内で、日弁連環境部会の方達が常盤台を視察に来たことがありましたが、そのとき参加されていたのです。

もうひとりの講師稲垣道子さん(フェリックス代表取締役)は多方面に活躍している都市問題専門家、板橋区の都市計画審議会委員でもあり、難しい法的規制の方法を探った内容でした。

遠く明石からの参加者は、関東でかくも多く問題が起きていることに驚いていました。

福島原発はどうなっている？

国民の最大の心配は、あの原発事故が収束していないことなのです。メルトダウンした格納容器から漏れ出して、冷却水はどんどん地下へ染み出しているに違いありません。汚染された地下水がどこへ拡散していくのか、いつか地表に出て来るのか、その時日本は人間の住めない国になってしまふのか、誰も答えてくれません。原発で作る電気で暮らすくらいなら、節電していくらでも我慢しようと思います。地球を汚染する心配のないエネルギーだけで生きていきましょう。地球は今生きている私達だけのものではないのです。

借り上げ方式の

アパート・マンションは儲かるのか

土地の有効利用と称して金融機関や建設業者がアパートやマンション建築を勧誘するチラシが入ってきます。借り上げ方式というのか、管理を任されて一定の収入を保証するやり方もあります。土地さえあればローンを組んで簡単にできそうに思えます。

しかし、落とし穴は常にあるのです。契約した会社はいとも簡単に破産申告できるし、十年も経たないうちに安普請は修理が発生、今でも過当競争で空き室が多いのに、どんどん契約者が減る、という悪循環のなかで、ローンが返せず結局土地を手放さねばならなくなるケースも多いと聞きます。うまい話には要注意！

ハクビシンの夫婦愛

二年前のことです。夜、ハクビシンの番いが庭に出ているOさんの猫のえさを食べに来ました。怒った猫に追いかけられた雌は、雨どいにしがみついて救いを求めています。騒ぎを聞きつけてOさんが玄関から出てみると、雌を攻撃されると思った雄が牙をむいて威嚇し、向かってきました。雌を守ろうとするそのものすごい迫力にOさんは家の中に急いで逃げ込んだくらいで、あの雄はうちの亭主よりよかったです。とOさんは今でも感嘆しきりです。その時Oさんが撮った写真には、雨どいにしがみついている雌と、塀の上を向こうから駆けつけてくる雄が写っていました。

二丁目のKさんは庭に猫のものではない糞をよく見つけるそうですから、まだ常盤台に何匹か住んでいるのでしょうか。

オリンピック誘致是非か

二〇二〇年のオリンピックを東京でという誘致計画を推進するため行われた銀座でのメダリスト・パレードは熱狂的な盛り上がりでした。しかし、オリンピック誘致そのものには全く都民は冷めているようです。こういうイベントの裏事情はいつも不透明で、使途不明金が多いのが問題のひとつです。

オリンピックに浮かれています間に、消費税増額も電気代値上げも決まってしまうたようなこの夏でした。

常盤台公園のはなづくり

芝生の中に座り込んで、ひたすら雑草を取っていると、色々な人が話しかけてきます。

多くは近くの新興宗教に用のある人たちらしいので、折伏（しゃくぶく）されないように身構えながら相手をします。

「ご苦労様。」（大体この挨拶から始まります）

「なにしているんですか。芝生の雑草取り？これ芝生なんですか。全部雑草かと思った」（そう見えるかもしれないけれど、余りはつきり言われるとムツとしてしまいます）

「あの〰雑草を取ったらはげちよろけになりませんか？」（私達もそれが心配なんです）

「いやあ、こうなっちゃあ雑草だけ抜くのは大変だねえ。芝生全体をとつかえる、なんて考えないの？」（そうですね、名案かも！）

「ボランティアって本当？本当に何にも貰ってないの？」（これも多い質問です。このせちがらい世の中に永年生きていると、お金と関係のない世界があるということを忘れてしまふのかもしれない）

芝生は元々私達が選んだのではなく、貼られた所を補完しつつ手入れしているのですが、結構手がかかるものです。

定例会九月一日（土）七時〜

「ギャラリー服部」にて